

# 「神の恵みに対する態度」

～ あなたの心の中のデフォルトV～ 『理解』ヨハネ4：28-29・40-42

## はじめに

一番怖い事は聖書に書かれた事を知識として貴方のスタンダードに当てはめて考える事です。御言葉の利用と言いますが、引用ではなく利用なのです。私達の人生に利用が起ってしまうと、私達の中心は神様ではなく貴方になってしまいます。そすると、神様の恵みが全く別のものになってしまいます。

神の恵みは第一に私が罪人で私が悪かったとわかる事です。多くの人達は恵みの入口を体験するのですが、深みまでいかない事が多いです。なぜ人間が深い罪を起してしまうのかを聖書が教えてくれて、それが理解されると私達は赦すことができ、今まで自分は悪くないと言っていた私達が赦されて、相手からされたことが悲しかったことが理解できます。悲しみを理解した人は神様の前で慰められて、慰められると私達の心の中にある問題に気付くのです。その問題に気付けると自分の悪かった事を見る時に周りの人に対する思いや葛藤が癒されていくので私達の人生の中で自分の罪の問題が私自身や多くの人達を傷つけてきたことを究極的に知ることができるとです。それは、頭の理解ではなく自らが体験して知るので。赦しと罪に対する理解が変わった時自ら起き上がってきて古いものは捨てて新しくなったと言った瞬間に私達の人生は変わります。

しかし、これらのことを頭で理解しようとする事は、神様の恵みの生き方とは反するものです。パリサイ人達がどうしてイエスキリストを知ることができなかったのか。それは彼らが頭でいつも見ていたからです。自分のスタンダードに当てはまるか、当てはまらないかをいつも頭の中で考えていました。これは神様が居るのではなく、自分が神様です。自分で生きてきた生き方を止めて、自分が王様であることを止めて今日から神様と生きて聞いてみましょう。

## 神のスタンダード

神様は貴方を造ったから、造ってくれた人に私はどうやって生きて行けばいいですかと聞くのが礼拝です。聞いた方法で生きた時、理解された事を感謝する為に賛美をしています。理解は後からついてきます。私達の目はずれています。貴方のいい加減な眼で物事を判断されては困るのです。自分の標準で話すはずれてしまいます。私達がしなくてはいけないのは聖書に戻ることです。あと一つは私の標準に聖書を当てはめるといふ事をしない。神様は貴方の武器となる為に御言葉を与えたのではないのです。貴方が人生を生きるために自分に降ってくる火、矢を打ち破るために御言葉を与えたのです。貴方のスタンダードを持ったまま御言葉を理解して覚えてもただの哲学者です。私達が持っているものを全て置いて聖書がなぜそんな事を言ったのか、その御言葉の背景は何なのかを理解して初めて伝えていく意味が分かるので毎週日曜日尊い時間に学びをしているのです。ですから、私達が持つスタンダードを置くことが出来ればこの御言葉は人生の灯にすることが出来るのです。スタンダードは光を暗闇にしたのですから、暗闇と光は融合する事はありません。だからこそ、私たちは選ぶのです。私達はその人にとって特徴あるものを用いて計画を立てることが出来ます。なぜ私にはこれがないのだろう、それはあなたには必要ないからです。なぜあの人にはできて私にはできないのだろう。それは、神様が貴方に与えなかったからです。それぞれに役割があるのです。私達はいつも比較対象を心の中心においてこの人より上か下を考えています。人は天から与えられたと、そうでなければ何も受けていないと肝に銘じることが出来れば与えて下さった方にどうあるべきかを聞くことができます。与えて下さった方にどうあるべきかを聞いて歩むのです。

『ヨハネは答えて言った。人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。』ヨハネ3:27

## イエス様がサマリヤの女と出会って向き合う

彼女はこの出来事の後に街を出て言います。「見て下さい。聞いてください。あの人はメシアではないのですか。」

貴方は自分の水瓶を持っていますか。神様に水を飲ませて下さいと言いつつ自分の水瓶を持っているのです。神様に頼るのは水瓶に水が無い時だけ。ところが、乾かない水をくださいとは言わない。これが私達の人生の違いです。人生の根本的な問題を解決を神様に求めず、日常生活は今まで通り、大きな問題が起きた時だけ不平を言いながら解決を願う。でも神様がしようとされていることは違って根本的な解決です。貴方の心に蛇口が付くことです。神様は貴方の人生に蛇口を付けるよと言ってくださっています。沢山の恵みを受けて家に帰るとまた井戸から水を汲んでくる。神様は蛇口を付けてくれました。蛇口を開かなければいけません。今までの方法を捨てなければいけません。サマリヤの女は二度とこの場所に水を汲みに来ることはありませんでした。彼女は神様がくれる生ける水を受け取ったので、今まで人の前に出なかった人生を止めて180度人生を変えました。

## 来て、見て、知る。

自分が持っているものや情報が違うと思った時、それに触れてみるのが大事だったので。私達が神様を捜す時は、証しされた時私には関係ないと思わず信じてみる必要があります。触れてみようとするのです。触れてみると知るので。それは理解ではないのです。サマリヤの女は水瓶を置いて行った。そして、人々はサマリヤの女が言った言葉で信じたと書いています。この後イエス様が復活した事を弟子達でさえ女達から聞いても信じませんでした。この違いは何でしょうか。私達は目で生きているか、心で生きているか。その違いです。感じているか、触れているか、それとも頭で理解しようとしているか。イエス様はどのようにお生まれになりましたか。人々が理解できない方法でした。イエス様を感じた人は考え方を捨てました。私達が捨てなければいけないのは自分の考え方です。自分の今までの信じていたものを置いて感じる事です。

神様が貴方に語ろうとしているとても重要なメッセージの話しを感じるように御言葉の時間に招いておられます。だから、心を澄ませて心を開いて神様の言葉を聞くのです。そうすれば、神様が貴方に感じさせて理解させて下さいます。彼らは最初に感じたのです。彼女の人生を見ていたから。今まで5人夫が居て不届き者でした。彼女はレットを貼られていたで隠れて水を汲みに行っていました。その彼女が出てきて私の事を言い当てた人が居ます。一緒に見に行きましょう。と言っている姿をみて本物だと感じたのです。彼女の痛みと悲しみにあった人生から温かさを感じました。彼女に触れた温かさで彼らも来ました。そして、来て、見て、触れて温かかったのです。言葉によって知り、言葉によって理解したのではなかったのです。礼拝とは真っ白なキャンバスして来る所です。色んな理論を持ったまま聖書の理解を持ったまま来て意味がありません。イエス様は何が言いたかったのか感じたのかを自分のスタンダードに当てはめてそこに当てはまる人なのか調査してはいけません。御言葉を聞く時にそれを行っている人は変わることはできません。

イエス様に触れて温かいと感じた時に私達の人生が祝福されて愛されていることに気付くのです。神様は心に向けてくれるのを待っています。心が向いた時に回復しようとしてくれて待っている父なのです。神様がしようとしておられる温かさを私達が礼拝で感じないとその恵みが貴方の所に届くことがありません。私達にはキリストの心があります。神様の愛を知る時に私達は変えられていきます。

## ヘンデル

ヘンデルは曲を書いても売れませんでした。評価されずうまくいきませんでした。借金膨大に膨れ上がってもうじき投獄される寸前でした。彼はそこまで追われなければ神様を捜すことが出来ませんでした。そこで神様に祈りました。すると彼の上に神様の御言葉イザヤ書53章が入ってきました。この御言葉を聞いて我に返りました。今まで思い浮かばなかった曲が浮かびました。

ヘンデルが自分を見て、自分の生き方をしている時に自分の水瓶で水を汲んでいる時は描けませんでした。ところが、神様と出会った時にこんな大作を24日でかけるのです。彼は耳に聞こえる事だけ書きました。神様は貴方の人生にこれを起こす事ができます。でもそれは貴方しか聞くことが出来ません。問題の中で人の事を気にして自分で牢屋に閉じ込めている人が人生を共に出来るのでしょうか。私達は神様を選ぶことができます。そして、あなたの決断を行うとき貴方は神様からこのような素晴らしいメロディを耳に聞くことができます。

## 最後に

主は私達の人生に変化をもたらす方です。しかし、変化を受け取るには条件があります。それは水瓶を置いて帰る事です。私達は愚かなのに自分が間違っている事を知っているのに自分の考えで神を判断し、神の声を聞こうとします。

私達は神に創造されたのに手足をもぎ取られ心と名前を取られた人生を生きています。神様の前には出てきてはいますが、神様がくださった手足と心は持って帰ろうとしない。あのサマリヤの女のように誰もいない時間になんとか生きるために必死に水を汲みに来る。私達の心から失われてしまった太い中心を取返し、強い揺り動かされることない土台の上に立てる人生を歩めます。貴方は光輝き神の栄光を表わすことが出来ます。

(要約者：富岡美千男)

(2025年9月7日)